広報 いまかね

発行・今金町役場　編集・企画室　印刷・函館　㈱長門出版社　45. 10. 24　発行



“手を上げて” 正しく横断

歩行者を交通事故から守ろう—を合いことばに6日から15日まで秋の交通安全運動が行なわれました。交通安全ラリー、自転車教室、車輌点検、街頭指導など多彩な行事が催されましたが、写真の今金小交通安全教室もそのひとつ。

期間中は事故“ゼロ”の成果でしたが、こんご無事故目ざしてお互いに交通ルールを守りましょう。

'70年
10月号
No. 148

作 豊 計画的な投資と貯蓄を

農政の転換期に対処

生産調整や米価問題などさまざまな問題をかかえて行なわれたことしの米づくりは、平年作をやや上廻り、農家もホッと一息ついて取り入れを迎えています。

この気のゆるみから、ここ三、四年の消費ブームに拍車をかけ、無計画な消費が進む恐れがじゅうぶん考えられます。

計画的な投資と貯蓄で長期的な生活設計をするよう心がけましょう。



基盤整備で稲刈りも最新型のコンバイン

米、平年作を上廻る

八月十六日の台風により、平年作をやや上廻る反当り六俵程度で約十二万俵の収穫が予想されています。また、畑作も平年作が見込まれ、金農家の粗収入は、約十四億円とみられています。

これに伴って農協などを通じて農家に流れる資金も少なくありません。これをねらって激しい商戦がくりひろげられており、ここ三、四年の〝マイホーム〟〝マイカー〟〝電化〟などの消費ブーム、農作業の機械化、基盤整備などの投資がことしも続くことが当然予想されます。

町が、九月二十一日現在でまとめた作況によりますと、春以来の好天で相当の増収が予想されましたが、

貯蓄の芽、育てる家庭に笑顔あり

経営拡大と農作業の近代化のための投資、再生産のためのレジャーも必要でしょう。しかし、農業経営の安定は将来に備えての資金の蓄積が最もたいせつです。

特に最近は、農政の転換時期にあたり、米偏重政策の是正が大きくさけばれており、来年度も生産調整が実施されようとしております。生産者としてこれにどう対処するか真剣に考えなければなりません。

こんごの経営については、農協、農業改良普及所などとじっくり相談、計画性のある投資と貯蓄により、これからの冷害、災害に備えましょう。

みのりの秋を無事故で

農作業の機械化が急速に進み、経営の近代化に大きな役割を果たしています。しかし、その反面農業機械による事故が年々増加し、昨年の四月からことし三月までに道内で五人が死亡、百三十四人もが負傷しています。

みのりの秋を迎え、いよいよ収穫作業の最盛期に入りますが、脱穀調製や運搬作業など機械の使用にはじゅうぶん注意しましょう。

赤い羽根募金に協力を

めぐまれない人たちのための
たすけあい運動です



今金小の改築費など追加

第3回定例町議会

一般会計は56，304 万円に

第三回定例町議会は、九月二十四日開かれ、補正予算三件と条例改正など議案十二件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

この議会で決まったおもなことは次のとおりです。

◇昭和四十五年度一般会計補正予算（第三号）

歳入歳出それぞれ二千三百七十五万円が追加され、予算総額は五億六千三百四万二千円となりました。

追加のおもなものは、今金小改築工事費に二百九十三万八千円、今金中便所増築、八束中放送施設、教員住宅物置新設工事などの学校整備に二百三十八万円、校舎、教員住宅などの修繕料に百六十六万円、義務教材費に百二十五万八千円など教育費の増が目だっております。

歳入は地方交付税が二千五百七十一万円、町債二百三十万円、町税百二十一万六千円、道支出金八十三万四千円が見込まれ国庫支出金六十五万一千円が減額されました。

◇国民健康保険会計施設勘定補正予算（第一号）

医師住宅建設用地購入に百六十万円、機械備品購入に五十五万八千円など資本的支出に二百五十万三千円が追加され、総額一千四百六万円になりました。

◇簡易水道事業会計補正予算（第一号）

給水工事費に二十万円など百三十九万六千円が追加され、総額七百六十八万三千円になりました。

◇町議会定例会条例の改正

町議会の定例会を年四回とすることに決めました。

◇北部桧山衛生センター組合規約の一部改正

ごみ処理施設の設置維持管理をつけ加えるなど規約の一部を改めました。

種川地区に簡易水道

四十六年度中に給水

飲料水不足で悩んでいた種川地区に簡易水道が設置されることになりました。

この簡易水道は、種川市街地でポンプアップした地下水を裏山の配水池に導入し、塩素滅菌などの消毒の上、種川市街地全域に給水するものです。

現在、ボーリングを実施しており水質検査の結果飲料水に適当であれば十一月中に認可申請をする予定です。計画によりますと、給水人口は種川地区の六百人を見込んでおり、これに要する工事費は一千六百五十万円（国庫補助金五百五十万円、起債八百二十万円、一般財源二百八十万円）です。

順調にいくと、四十六年十二月までに給水される見通しで、水不足からも解消され、環境衛生にも大きく役だつものと期待されています。

◇課、室設置条例の一部改正

これまでの六課一室に種川簡易水道の設置に伴い『水道室』が新設されました。

◇種川簡易水道条例の制定

四十六年度中に設置される種川地区簡易水道の条例を制定しました。

◇町職員の旅費、特別職の報酬、費用弁償額の支給条例の一部改正

旅費、報酬、費用弁償の日当、宿泊料を引き上げました。

教育委員

伊藤一治さん再任

◇教育委員会委員の任命

九月三十日任期満了となった伊藤一治さん（金原）が教育委員に再任されました。

水道室を新設

次に改正されたおもな条例をあげます。



五日と二十日は
行政相談日です

公園の多いのにびっくり

由起子ちゃんの見たヨーロッパ

健康作文コンクールで入選した川村由起子ちゃん（今金小 四年）は、全国の十人の入選者、担任の浜先生らといっしょに八月二十日から十一日間、オランダ、フランスなどヨーロッパの親善旅行をして二十日無事帰国しました。

由起子ちゃんが自分の目で見たヨーロッパ旅行の感想記を紹介します。（一部省略しました）



オランダの木靴工場で （右から4人目）

すぐお友だちに
ニェケルク子どもの家

八月二十五日はロンドンに行きました。ロンドンでは、ミニスカートがとてもはやっていました。

ホテルはとてもきれいです。白いまどのところに花がいっぱいかざってありました。

おもちゃのような兵たいさん ――

バッキンガムきゅうでんの兵たいさんを見にいきました。しばらくすると、足なみをそろえて赤い洋服に黒いぼうしをかぶった兵たいさんが行進してきました。前に本などでみて知ってはいましたがほんとうにおもちゃみたいでした。

その次は、ウインザじょうへいきました。エリザベス女王さまも年に何回かとまりにくるおしろだそうです。小高いおかの上にどっしりとたっていました。みどりのしばふにかこまれて、はばの広いつつの上に少し小さいつつをのせたようなおしろでした。ふん水とお花にかこまれて、それはそれはきれいななかめでした。

旅行のさいごはフランスに行きました。見るものがあまり多いのでびっくりしました。でも、むずかしいことばなのであまりわかりませんでした。見たところは、シャイヨーきゅうでん、エッフルとう、ベルサイユきゅうでん、ノートルダムじいん、ルーブルはく物かん、シャンゼリゼー通りなどです。ノートルダムじいんの中は、とてもきれいなガラスで目がくらむようでした。やねには、かいぶつが下をにらめていました。雨がふるとその口から雨をふき出すそうです。

あまりたくさん見たのでわすれたのもたくさんあります。ヨーロッパでは、ばんばくや日の丸のバッチをあげたりしてたくさんのお友だちができました。

外国語を勉強して また行きたい ――

十日間の旅行はほんとうにためになりました。みなさんも、いっぱい作文をかいてヨーロッパに行けるようにしてください。私もしっかり勉強して外国語をはなせるようになったら、また行きたいと思います。そして、よその国のお友だちに日本のことを知ってもらいたいと思います。

次の日はホテルからバスでニェケルク子どもたちは、手をたたきながら私たちをむかえてくれました。口のきけない子、おかあさん、おとうさんのいない子、ちえのおくれている子どもたちが六十人もいるかわいそうな子どもの家です。私は、さびしくないかな、かなしくないのかなと思いました。わたしたちがいくと、ほんとうによろこんでくれました。みんなとすぐなかよくなり、お友だちになりました。

ゆうぎをしたり、こんにちわのうたをうたったり、すもうをやったりして楽しい一日でした。かえる時は、みんなあつまってうたいながら見おくってくれました。まためつぶのようになるまで手をふっていました。

八月二十二日はスイスにいきました。みずうみには、大きなふんすいがあって、花時計もふきあげて、花畑のようなおしろでした。ふん水のそばにぴょこぴょこおよぐようからは外国です。だから日本人としてはずかしくないような行動をしなければと思った。

四、五時間してからグリーンランドの上にきた。北きょくけんです。スチュワーデスのおねいさんが、北きょくの上を通った記念の証明書をくれました。とてもきれいなもようがグリーンでかいたように見えました。みんなカメラでうつしました。

アンカレッジから八時間ちょっとでオランダのアムステルダムにつきました。いろいろな車がいっぱい走っていました。どこも川だらけでびっくりしました。公園の多いのにもびっくりしました。

午後からはゆうらん船にのりました。川はとても美しく、がちょうが船のそばにぴょこおよ

記念品に涙を流すほど

敬老の日 町長の慰問に大喜び

敬老の日の九月十五日、町内の八十八歳以上のお年寄りの長寿を祝い励まそう――と町長が慰問訪問しました。

この日を楽しみにしていたお年寄りは、町長が行くのを待ちかねたように、さっそく若いときの苦労話や思い出話に花を咲かせ、記念品にも涙を流すほどの喜びよう。

町内で現在最年長の西シマさん（字田代・九十一歳）は、まだ草むしりや柴折りなどもできるほど元気で、高台なので長いこと水不足で苦労したが、水道がついて夢のようです。と語っていました。

養島勝四郎さんは、るす番をしながら自分でお茶の木を育て、九月に飲む新茶が唯一の楽しみとのことです。



ますます元気、西シマさん

早めに申し込みを

年末のし尿くみ取り

ことしの五月から操業をはじめた北部桧山衛生センター組合のし尿処理場は、このところ順調に運転されています。

組合では、三台のバキューム車を委託してフル運転しており、比較的余裕のある夏ぶんは望みにこたえてきました。

ところで、秋ぐちから年末にかけては、各家庭からくみ取りの申し込みラッシュが予想され、場合によっては皆さんの希望される日時に伺いかねることもあると思われます。くみ取りは、できるだけ早く、できれば十日ぐらい前に申し込んでいただきたいものです。

とくに、十一月下旬から十二月中旬にかけてくみ取りをする方は、この心がけがたいせつです。

お宅の便所はどうですか、もう少しあとでもいいかな？と思っても、早目に申し込みをされていた方が安心です。

また、せっかく車がお宅へ伺っても、るすなどでくみ取れないことがあります。こういう場合は、また次の機会でなければくみ取れませんので、近所の方へたのんで行くとか、申し込むとき、不在のときは○○へとか、不在でもくみ取って行けるような方法をとってください。



北部桧山衛生センター

進）高向寺ハクエ（種川）畑沢とも（花石）岡林せな（八東）養島勝四郎（日進）細野セツ（高美町）永井豊次郎（本町）谷田やい（神丘）形部ワサ（鈴岡）田中ヨキ（金原）松本馬次郎（日進）

お知らせ



■自宅での石油貯蔵 100ℓ以上は届け出を

最近、石油ストーブの普及に伴い大量に石油を貯蔵する家庭が増えていますが、町の火災予防条例によって一般家庭で貯蔵できる石油は500ℓ未満とされています。ただし、100ℓ以上のときは町長に届け出て少量危険物取り扱い所として検査を受けなければなりません。100ℓ未満ですと規制はありませんが、火気のないところに貯蔵することはもちろんです。

石油の容量はドラムかんで200ℓ小型の石油かんが18ℓです。したがって、一般家庭で買う石油は小型かんで6かん以上、ドラムかんで買う人はすべて少量危険物取り扱い所の届け出をしなければならないわけです。

届け出によって町はこれらを検査、危険がなければ『少量危険物貯蔵取扱所』の表示をすることになりますが、条件として屋外の場合は可燃物から2m以上離し、できればブロックやモルタルの耐火構造の壁やへいでかこむこと、などとなっています。

■身体障害者職業訓練生を募集

手や足、または身体に障害のある人に職業についての技能と知識を身につけさせ、社会へ職業人として復帰させる身体障害者専門の職業訓練校『北海道身体障害者職業訓練校』（砂川市焼山60番地）では、次により訓練生を募集しています。

希望者は、公共職業安定所に申し込んでください。

- ▷応募資格は、身体障害者、肢体不自由者、視聴力障害者ですが訓練を行なうことにより再発、悪化のおそれのない中学校卒業（46年3月卒業予定者も含む）程度の学力がある人。
- ▷入学生全員に毎月18,000円から26,000円までの手当が支給されます。
- ▷訓練期間は1年間です。
- ▷願書の提出は12月5日まで。
- ▷詳しいことは役場町民課へ。

文化祭を合同で

今金町文化協会が設立

町内文化団体の連係を図り、文化の向上発展を期そう――と、『今金町文化協会』が設立されました。

町内の文化団体は、これまで社会教育活動の一環として独自の活動を続けて発展しております。しかし、各団体は、お祭りやお盆などを利用してそれぞれの成果を発表してきたにとどまり、どちらかといえば一般の町民にはその活動もあまり知られていない現状にあります。

このため、各団体が連係をとって合同で文化祭などの行事を行ない、町民にPRをしようとする気運が高まってきていたものです。

十月一日、公民館で開かれた設立総会には、六団体から五十人が出席し準備世話人会で作成した案を審議しました。経過報告と各団体の紹介のあと、規約、事業計画予算を決め、役員には会長に伊藤綱義さん、副会長に今野伝さんと小北道風さんを選びました。

協会は、日本詩吟学院岳風会今金支部、書道愛好会、北陽画会、全日本写真連盟北部桧山支部、今金民謡会、若葉サークルで組織され、現在の会員は六団体合わせて二百人です。

今年度の事業計画は、十一月に文化祭、十二月に助け合い発表会を計画しているほか、未加入団体の加入を呼びかけ、新団体結成にも協力する方針です。



まちの名所

静寂な落ち着き

青芳園

住民の動態

人口	11,406
男	5,552
女	5,852
世帯	2,854

（45.9.30現在）

☒たんじょうおめでとう

木村 明子（正吾 長女）開運町
田畑 勝利（利雄 長男）八束
岩本 博樹（幹夫 長男）高美町
臼井 美樹（治男 三女）緑町
中田 学（勇一 二男）曙町
高橋 聖生（正幸 長男）昭和町
金田知香子（進 長女）南栄町
米山 美咲（章 長女）開運町
人見 博明（忠 長男）田代
堺 志帆（要夫 長女）大和町
阿部 美幸（光寛 長女）柳町
大塚 利恵（衛 長女）栄町
佐賀 健一（俊雄 長男）栄町
菊谷昇仁郎（栄一 二男）昭和町
西 博美（幸男 二男）白石
川口 哲義（稔 長男）寒昇
☒いつまでもしあわせに
清水 好昭＝越田 郡子 豊田
藤川 治喜＝円道 順子 本町

新しい〝郵便貯金マーク〟

新しい郵便貯金マークが決まりました。

このマークは、郵政省記章の〒マークと貯蓄のもつ繁栄、成長の意味を草木の茂りに象徴して組み合わせたもので、郵便貯金を通じてお客さまの繁栄を願う気持ちのなかから生まれました。

郵便貯金ポスター、チラシなどの印刷物や、貯金通帳、証書などに使用します。

安達 瑛＝小泉久美子 高美町
鈴木 茂＝土井ミヤ子 幸町
◆おくやみもうしあげます
本根千鶴子 六歳 種川
天井 きく 七十七歳 田代
伊藤 留蔵 七十二歳 種川
山口 誠二 四十八歳 種川
佐藤 キヨ 七十一歳 稲穂
石沢 竜作 六十八歳 花石
（九月分）

納期までに完納しょう

固定資産税〈3期〉
国民健康保険税〈4期〉
自動車税〈2期〉
10月31日まで

犬は必ずつなぎましょう

